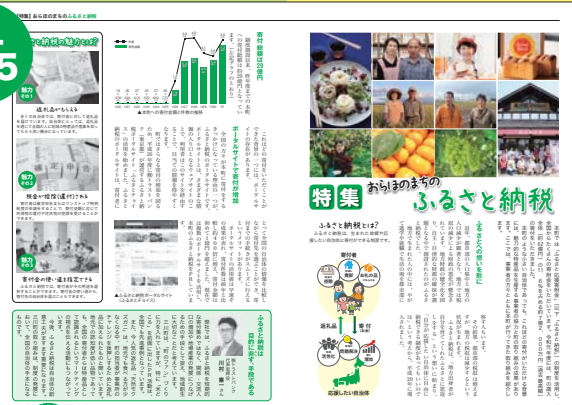


No. 765

特集「おらほのまちのふるさと納税」



返礼品提供者と寄附者、双方の喜びの声を紹介！
(令和2年11月号)

No. 740

特集「幻の米『イ号』プロジェクト」



町内の育種家が生んだ米「イ号」が約80年ぶりに復活！
(平成30年10月号)

No. 776

特集「一人ひとりが考えて行動するSDGs」



町の中高生が行う環境保護活動とその想いを掲載！
(令和3年10月号)

No. 789

特集「粘土細工が本物の和菓子に!!」



三川中学校の生徒が考案した和菓子を販売！
(令和4年11月号)

No. 761

令和2年7月号の表紙は、子育て・地域交流の拠点「テオトル」の竣工記念講演の様子です。会場利用や子育て支援センターなどを目的に、町内外から多くの方々が訪れており、テオトルは日々ぎわっています。



No. 702

平成27年8月号では、アメリカ合衆国の中学生が来町し、三川中学校の生徒と一緒に酒田花火ショーを観覧している様子が表紙を飾りました。新年号を除き、721号(平成28年度)までは、2色刷りの広報紙でした。

実際の表紙写真▶



No. 722

平成29年4月号からは、表紙(表・裏)がカラーになりました。この号では、防災行政無線のデジタル化により、音声聞き取りやすくなり、電話で放送内容の確認ができるようになったことをお知らせしています。瞬時に町内全域へ情報を伝えられる防災行政無線も、重要な広報ツールのひとつです。



県市町村広報コンクール
広報紙部門(町村部)
入選



No. 726

平成29年8月号では、町の「田からもの、(野菜編)」特集を掲載しました。色鮮やかな野菜とその生産者などについて紹介したこの広報紙は、県市町村広報コンクールで入選しました。



特集

広報みかわをご覧いただきありがとうございます
おかげさまで発行800号を迎えました！

もっけだの～



昭和30年1月に創刊号を発行した「広報みかわ」(創刊号は「三川村広報」)は、平成27年6月の700号から8年が過ぎ、今月800号を迎えました。
この8年の間に、令和への改元や消費税増税、新型コロナウイルスの感染拡大など、大きく時代が動く出来事がありました。また、東京オリンピック・パラリンピックや各種スポーツのワールドカップが開催され、日本選手団の活躍が、私たちに大きな感動をもたらしてくれました。
町でもさまざまな出来事があり、広報紙等を通して皆さまに紹介してきました。ここでは、700号から今号までの広報紙を振り返ります。

題字コレクション
第6号で「広報みかわ」と題してから、これまでに使用した題字デザインの一部を紹介いたします。



この際にチェック 町のSNS!

町では、積極的な情報発信を行うためSNS等も活用しています。SNSは、ソーシャルネットワーキングサービスの略で、利用者同士がインターネット上で交流できるコミュニティサイトのことです。

Facebook(フェイスブック)



YouTube(ユーチューブ)



LINE(ライン)公式アカウント



ふるさと応援寄附金SNSアカウント



このうちLINEは、国内のアカウント数が9,500万を超えており、多くの自治体で活用されています。

町公式LINEの友だち登録者数は、約1,100人(令和5年9月末現在)で、さまざまな行政情報を日々配信しています。

今後は、登録者の増加を図りながら、一方的な発信だけでなく、町民の皆さまの声を聞くためのコミュニケーションツールとなるよう力を入れていきます。

三川町公式LINEでごみの分別検索ができます



※トークルームに直接入力してください。

広報で高めよう! — 協働のチカラ —

広報とは

広報は「PR」と表現することがありますが、この言葉は「public(パブリック) relations(リレーションズ)」という英語の略語です。public = 「公衆」、relations = 「関係」がおおまかな意味であることから、「PR(広報)」は「住民との関係づくり」のために存在していると言えます。

広報の役割

広報の役割は、大きく分けて2つあります。1つは、町民に対して行政情報や町内の活動情報などをわかりやすく発信することです。もう1つは、町の魅力などを知ってもらうことで、町の認知度やイメージを高めることです。



あふれる笑顔
みんなが住みやすいまち
ハートフルタウンみかわ

情報を共有する

まちづくりの主役は、この町に住んでいる皆さん一人ひとりです。行政情報などを皆さんに正確に知ってもらい、次は、行政が皆さんの考えや意見を聞いて共有する。この相互理解が協働のまちづくりへの第一歩です。

まちを好きになり協働する

三川町には、素敵な人・モノ・場所がたくさんあります。広報みかわは、そのような町の良さを紹介し、応援しています。町の新たな魅力やがんばっている人を知り、もっと三川を好きになると、自分たちの住むこの町を「もっとよくしたい」という気持ちが出てきます。その気持ちや行動は、まさに協働のまちづくりそのものではないでしょうか。

800号記念アンケート 結果発表!

800号記念にあたり実施したアンケートの結果を紹介します。
【問：好きな表紙は?(701~799号)】

ご協力ありがとうございました!
結果の詳細は、町ホームページをご確認ください。



令和4年10月号
「ぬいぐるみみかわん」初登場

いただいた感想(抜粋)
・みかわんがかわいい!
・みかわんと季節の自然がマッチしていて、ほのぼのする!



令和3年11月号
「ブルーインパルス展示飛行」

いただいた感想(抜粋)
・かっこいい!
・感激しました!
・希望を与えてくれた!
・隊長が町出身で誇らしい!



平成29年10月号
「お米の収穫風景」

いただいた感想(抜粋)
・秋の風景が良い!
・夕日がきれい!
・これぞ三川町の風景!



▲中面にもカラーを使用して、町の話や伝統工芸などを紹介



▲広報みかわ 県外版

県内外に町の魅力を発信!
本町出身者が故郷を思う心と町民とのつながりを深めることを願い、「広報みかわ 県外版」を昭和59年3月から平成16年3月まで、年2回程発行していました。約1,500人に発送した創刊号では、町の話題をカラー写真とともに分かりやすく伝えていきます。

事業所を新設された方などで、
広報紙の発送を希望される方は、
お問合せください。
○問合せ先 役場企画調整課
企画調整係 ☎ 35-7013



▲町内福祉事業所での封づけ作業
※障害者優先調達推進法
障害者の経済面の自立を進めるため、公的機関が物品等を調達する際、障害者就労施設等から優先的に購入することを推進する法律

現在、広報みかわは3,000部を印刷し、町内会の協力による全戸配布や郵送で、皆さまのお手元にお届けしています。また、インターネットへの掲載により、町内外の多くの方々に広報みかわをご覧いただいています。
このうち郵送は、本町にゆかりのある方や関係機関・団体に宛てたものです。今年度からは、障害者優先調達推進法※に基づき、町内の福祉事業所に封づけ作業等を委託して発送しています。
広報紙がお手元に届くまでに、時間を要する場合がありますが、ご理解と協力をお願いします。